

通級だより

静岡聴覚特別支援学校

通級指導教室

2024年11月 No.6 文責 松永



第2回通級生の集い:本校児童生徒との交流

10月12日(土)第2回通級生の集いを実施しました。今回は、自立活動の授業や「ロケットドリームプロジェクト」に参加して、本校の児童生徒と一緒に活動しながら交流しました。

今回は、次の目的で活動に取り組みました。

- ・通級生同士や本校の児童生徒と交流することによって、互いを理解し合うとともに日々の学校生活の励みとする。
- ・情報保障がされた環境での授業や活動への参加を通して、在籍校での学習を振り返り、今後の自分にとって必要なことについて考える機会とする。

次回の第3回通級生の集いは、2月15日(土)です。学習のまとめの発表会と交流活動をします。



自立活動



本校1年生と通級1年生

『すごろく』

本校の1年生が手作りした「すごろく」を楽しみました。止まったマスに書かれている質問に答えることで、お互いのことを知りました。好きな勉強、好きなキャラクター、好きな色、誕生日をみんなの前で発表することができました。



本校3,4年生と通級2年生

『聴覚特別支援学校の工夫を教えよう!見つけよう』

交差する廊下から近づくと人が見えるようにカーブミラーがあることや、物が落ちてもしばや大きな音がしないように床にカーペットが敷いてあること、「べんきょう」「あそび」「ひなん」の3色の表示灯があることを学習しました。



本校3,4年生と動画で参加した通級3,4年生

『自分の思いや考えを友達に分かりやすく伝えよう』

自分の学校自慢を発表しました。参加できない通級生は、画面越しでも分かりやすく伝えるように、文字に表したりゆっくり大きな声で話したりする等、工夫して発表しました。本校の友達も、他校の様子を知ることができ、喜んでいました。



本校5,6年生と通級6年生

『ロケットに夢を乗せよう 🚀 手話にふれあおう』

「手話に親しむ」「同じ障害の友達と交流する」活動を行いました。自己紹介の後、手話クイズに挑戦して、本校6年生が出題した、サッカー、スカイツリーなどの問題に、通級生が正答することができました。その後お互いに将来の夢を語り合っとても盛り上がりました。

「スカイツリー」の手話 →



ロケットドリームプロジェクト in 静岡聴覚！

参加児童生徒の目的

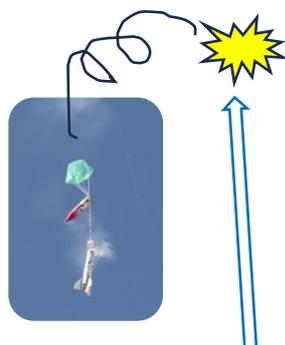
・「植松努」さんのメッセージを聞いたり、ロケット製作、打ち上げ体験を楽しんだりすることを通して、自身の意思を尊重して生きていくことや、やりたいことをあきらめない夢と勇気を仲間と共に持つことの意識につなげることができる。



ロケット製作

子どもの頃の夢を諦めずにロケット打ち上げ開発の技術者になった植松努さん。ドラマ「下町ロケット」のモデルになった方です。

本校の児童生徒と場を共有し関わりながら、一人1台ずつ自分のロケットを作りました。翼をはめ込むところや本体にパラシュートを入れるところなど、作り方がわからないときには、ボランティアの方を呼んで「ここが分かりません。」と聞いたり、本校の児童生徒に教えてもらったりして作り上げることができました。



ロケット打ち上げ

この日は、天気に恵まれ、運動場で青空めがけてロケットを飛ばすことができました。係の人が風向きを見ながらタイミングをとり、「さん、にー、いち、ゼロ」の掛け声で発射スイッチを押して、ロケットを飛ばしました。パラシュートが開いて無事にロケットが落ちてくるか、みんなハラハラドキドキ。風向きによって落下場所が変わるため、開いたパラシュートを見て追いかける友達に向けて「がんばれ!」と声援を送ったり、キャッチできたときには「やった!」とみんなで拍手をして喜んだりする姿が見られました。



